



“最高のお母さん”
6歳男 マレーシア

幼年美術

592

2018 3月号

発行所 大阪府東大阪市長田中4丁目6-3
ぺんてる(株)大阪支店内

全国幼年美術の会 ☎577-0013 ☎(06)6747-1601

発行人 廣富靖海

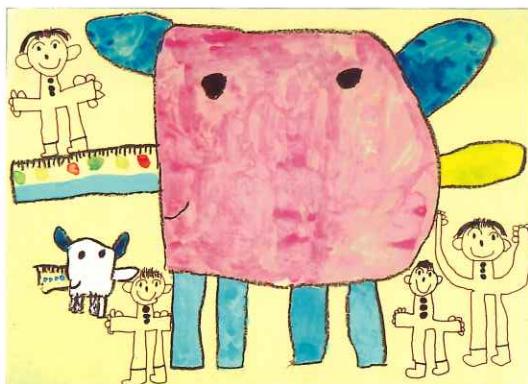
年間購読料 3,000円 1部300円(送料込み)

第47回 世界児童画展

優秀作品



“雨の日のお散歩で...”
4歳女 広島県



“ぞうさんのお鼻はゆらゆらきもちがいいね！”
5歳女 山口県

巻頭言

ゆとりある保育・教育を

二月の始め、寒い日が続
き大雪警報が出た時、私は
京都から大分までの新幹線
に乗っていた。車内から見
る景色は、もう春の陽の感
じられる好天気だった。東
京駅を通過した時、京都
の比叡山によく似た山を見
つけた。そしてこの辺から
も全国幼美に参加してくださっている先生方
を思い出し山をながめていた。
その時、山の上に白い雲が次から次へと現れ
た。じつと見ていると、余りにもその形の面
白さに、思わず手帳を出して描き始めた。魚
の形や動物の顔、恐龍の脚、一つ描き終えた
時には、もう元の形は変わっていた。岩国の方
辺りが一番沢山描けた。徳山を通過した頃に
は疲れてしまって、描く雲の数も減つていった。
それにしても、こんなにゆっくり空を見あげ、
雲をながめる事の少ない日々に気づかされた。
親も子も、せわしくて変わっていく世の流れ
に、あくせくしている暮らしに強い疑問を抱いた。
前回の『幼年美術』新年特別号のあとがき
に、羽溪先生が「デンマークの学びで、保育
の合間にコーヒーや紅茶を楽しむ時間を作ら
っています。そのような余裕を作ることによ
つて管理的ではなく、見守る保育を実践され
ています」と記されています。本当にもう
少し余裕のある暮らし、余裕のある保育・教
育が切に望まれる此の頃です。



第1回 石川幼年美術の会・実践研究会

石川幼年美術の会 会長 森田 ゆかり



2017年11月11日(土)、白山市民交流センターを会場に、石川幼年美術の会が「はじめの一歩」を踏み出しました。参加者は100名でした。

40年、50年と続いている他の地域とは異なり、「幼年美術の会ってどんなのだろう?」という思いで参加された方がほとんどです。スタッフも含め一人一人が、分からぬながらに「はじめの一歩」をそれぞれ踏み出されたことに、敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんのご協力およびスタッフの迅速な対応により、開会5分前には全員が研修の席に着き予定より早く開会しました。心が一つに合わさった素晴らしいスタートでした。

行われました。身近な素材であるクレヨン・バス・コンテのことをさらによく知るとともに、大人のアタマで「何かを描こう(作品をつくる)」とするのではなく、素材や行為そのものを楽しみ、造形遊びの面白さを満喫しました。驚きの表情、真剣な表情が見られ、遊びを通して初めて出会った人たちとのコミュニケーションも生まれ、緊張がほぐれました。



特別講演

「子どもの思い、保育者の願いが重なる造形活動」

講師 大橋 功先生
(岡山大学大学院
教育学研究科)

参加者の声を紹介します。

今まで造形表現の研修に参加する機会がなく、自分自身も絵が苦手で遠ざかっていたのですが意識が変わりました。実践するたびに悩みは出てくると思いますが、子どもたちの心に寄り添うことを忘れず関わっていきたいと思います。

子どもが楽しい、やりたい、試したいと思える造形活動を、私も子どもと一緒にやりたいと思いました。

た。

- これまで子どもたちに「絵を描かせる」「作品を残さなければ」という思いで取り組んできたように思います。研修に参加し「子どもの中から絵が湧き出てくる」のだと思きました。これからは子どもと気づきました。これからは子ども表現をいとおしく思えると感じました。
- 一人一人の絵を本当に楽しそうに解説してください大橋先生

の姿を見習い、私も子どもたちの表情やその絵を描いた背景に注目し寄り添つていこうと思いました。



絵を読む会

「子どもの絵から保育を語る」

何をおいてもやりたかったのが「絵を読む会」でした。しかし石川では馴染みのない取り組みです。初体験の私たちのために、京都幼美から会長の奥山淑子先生はじめ6名の先生方、滋賀幼美から会長の黄瀬重義先生が駆けつけてくださいま



した。7名の先生方の紹介を兼ね、「幼年美術の会」のこと、「絵を読む会」のことを語つていただきました。一からスタートする石川幼美にとつて「かたち」ではなく「本質」をお聞きし、温かい会の雰囲気を感じ取る貴重な時間となりました。

その後14時から2時間たっぷりと時間をとり「絵を読む会」を行いました。京都幼美の先生方のリードのお蔭で、参加者および京都の先生方が持参してくださった絵を見ながらグループごとに語り合い、そのことが日頃の保育の振り返りになり、多くのヒントも見つかったようです。京都幼美、滋賀幼美の先生方、ありがとうございました。



1階シティホールでは、「実践研究会」に併せて3歳から6歳の子どもの作品（国内50点、国外20点）を展示了。

スタッフ秘話

「石川幼年美術の会」では11月の「実践研究会」に向けて、単なる打ち合わせではなく2回の「研修＆造形あそびのワークショップ」を行つてきました。

2017年5月、「実践研究会」の半年前のことです。白山市保育士会を通して「乳幼児の造形遊びに興味・関心のある方、学びを深めたいと考えている方、保育実践へのつなげ方に悩みを感じている方、そして11月の実践研究会の企画・実行に関わっていた方」と声掛けしたこところ、有志が20名以上集まりました。



2回目の研修＆ワークショップではメンバーガが増えていました。とても嬉しい心強いことでした。しかしさ「夏季大學」などに参加したことのある者が辛うじて3名いるだけで、他のメンバーは「見たことがない」「イメージできない」ことに関わる不安がありました。そのような不安の声も共有し、楽しい造形遊びをしながら企画の段階からともに創りあげてきました。

今回は白山市の保育士有志とともにまずは会を立ち上げましたが、参加者からの感想には「次回も参加したい」「スタッフとして企画段階から参加したい」という声も多数ありました。これまで各地域の保育士会など主導で行つていた研修や園内研修などと有機的に結びつき、地域を越えて主体的に学び合う文化が石川に生まれることを願っています。

次回は2018年10月27日（土）に開催予定です。



た。
参加者全員の自己紹介の後、子どもの造形表現活動に関する「困っていること」「学びたいこと」を互いに聞くことから始まりました。



ぽけっと通信



公益財団法人美育文化協会の季刊誌『美育文化ポケット』17号(2018 Spring)が刊行されました。是非ご購読をお待ちしております。

2018 Spring 17号 目次

- 1 森林大国にふさわしい
“木のおもちゃ大国”をめざしたい！
多田千尋

2 pocket interview
山添 Joseph 勇さん
美術家／深沢アート研究所

8 biiku-navi report
美育NAVI訪問レポート⑦
せんりひじり幼稚園 大阪府豊中市
ナビゲーター：大橋 功

14 pocket news
ポケットミーティング in 東京

18 curriculum design
カリキュラム・デザイン⑥
特集 イロイロな色が好き！
榎 英子 + 馬場千晶 + 秋山道広

26 curriculum design
「こどもと先生のおどうぐばこ」

28 art in life
「壁面構成」を考える
大橋 功

32 art in life —0・1・2歳児編
春 明福寺ルンピニ学園 幼稚園・保育園
馬場千晶

33 art in life — 材料再発見
バラ状緩衝材／ゴルフピン
榎 英子

34 exploration in to the art of infants
連載 幼児造形の森①
ジャン・ジャック・ルソー 水島尚喜

35 word for children, word for art
連載 ことものための、アートのための言葉①
「知」佐藤賢司

36 practice
実践ポケット【認定こども園】
いろ・イロ・いろ・イロ 宮里暁美

38 実践ポケット【小学校】
3年生 宇宙を描く 渡邊裕樹

40 実践ポケット【保育者養成校】
2歳児の新聞紙 森田ゆかり

42 drawing & painting こどもの絵を聴く
【幼児の部】 松岡宏明

43 【小学生の部】 田中明美

44 Q&A
連載 こどもが育つ造形Q & A
鮫島良一 + 西村徳行

美育文化
ポケットは…

17号より内容改訂に伴い増ページ(40頁→52頁)になります

■美育文化ポケットの申し込みと決済方法が変わります

17号（2018年3月20日発刊）からは下記より申し込みください。

☆申し込み先

- ・スマホ、P.C：富士山マガジンサービス (fujisan.co.jp)
 - ・フリーダイヤル：0120-223-223
(24時間対応・年間購読のみの申し込み受付)

※号毎のお届けになります。号毎に購読の中止ができます。

☆お支払い方法

- ・クレジットカードでの引き落とし

※コンビニ、銀行、ネットバンク等からの振込、引き落としもできます。

■価格が改定になります

現状価格450円／1冊、1,800円／年間

☆改訂価格550円／1冊、2,200円／年間

公益財団法人 美育文化協会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-6-10
TEL: 03-5825-4801 FAX: 03-3865-0271
Mail: bunka@biiku.jp URL: <http://www.biiku.jp>